

# 高齢社会

①

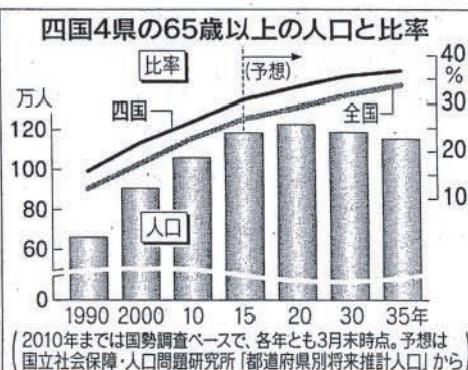
## 第1部 高齢者生き、活かす

生産年齢人口が減少し、医療費など社会保障費の増大が懸念される2011年の日本。しかし多くの高齢者が心身ともに健やかで、社会と様々な形でかかわりを持ち、存在感を発揮すれば、地域経済再生の担い手となり得る。高齢は本来、社会の中で寿(ことほ)がれるもの。国内でもいち早く高齢化が進む四国では、「高寿社会」の実現を目指す取り組みが進む。第1部は様々な分野で高齢者が活(い)き、活かされる姿を追う。

# 人生の先輩 知恵貸して



今治市の育児サロン「おぎくなあれ」



愛媛県今治市の子育てサロン「にこにこ広場おぎくなあれ」。引きひも才モチャを握りしめて、部屋中を駆けめぐらる森本球星(ぎゅうせい)ちゃん(2)を、スタッフの吉井智恵子さん(63)は包み込むような自分で見ると、2010年3月末時点の四国の老齢比率は26.2%と、1990年の15.8%から大幅に35年の4県人口は、3人に1人は高齢者になると見込む。

## 四国の老齢比率 15年にも3割超に

四国4県で高齢化が急速に進んでいる。住民基本台帳や国立社会保障・人口問題研究所による65歳以上の老齢人口の推移をみると、2010年3月末時点の四国の老齢比率は26.2%と、1990年の15.8%から大幅に35年の4県人口は、3人に1人は高齢者になると見込む。

老齢比率は高くなる。

全国平均で老齢比率が3割を超えるのは30年ご

10年時点の404万人から31年には36.7%に伸び、少子化の進行で31人に1人は高齢者になると4万人に減少する。一方

老齢人口比率が高い主な市町村(2010年)

香川県 小豆島町	35.2%
徳島県 上勝町 神山町	49.3% 44.6%
愛媛県 上島町 久万高原町	39.5% 43.3%
高知県 東洋町 本山町 大豊町 土佐町 大川村 仁淀川町 橋原町	40.9% 41.0% 53.1% 40.3% 47.3% 48.8% 41.1%

実際には出生率の低下などで、さらに早まることが考えられる。4県で老齢比率が最も高いのが高知県で、35年には37.4%に達する見通し。市町村別でも、10年時点で40%以上の自治体が同県内では7町村に上る。

守る。

繩つて飾るのはいつまでも」と質問する母親に「松を終えた60~70代の女性

で」と答える。先生。実の親子のよう

なやり取りが続く。

おぎくなあれは四国

施設内でスタッフは

にして、正月のしめ縄づくりを伝授する短時間の人材センターが運営する講習会を開いた。「しめ縄は、球星ちゃんの母、恵さん(26)らを「生徒」で唯一、地元のシルバーセンターでは従来、草取り業務を請け負い、登録会員の大半は男性が占めているが、「子育て支援こそ女性支援施設」12人の

母親たちに伝える内容は、近所との付き合いの大半は男性が占めているが、「子育て支援こそ女性支援施設」12人の

母親たちに伝える内容は、近所との付き合いの大半は男性が占めているが、「子育て支援こそ女性支援施設」12人の

母親たちに伝える内容は、近所との付き合いの大半は男性が占めているが、「子育て支援こそ女性支援施設」12人の

母親たちに伝える内容は、近所との付き合いの大半は男性が占めているが、「子育て支援こそ女性支援施設」12人の

## 子育て中の母親支える

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

タッフは人生の大先輩。たちは口をそろえる。彼女たちが求めているのは、有形無形の「女の知恵」だ。

## 第1部 高齢者生き、活かす

守る。

施設内でスタッフは

で」と質問する母親に「松を終えた60~70代の女性

で」と答える。先生。実の親子のよう

なやり取りが続く。

おぎくなあれは四国

施設内でスタッフは

生産年齢人口が減少し、医療費など社会保障費の増大が懸念される2011年の日本。しかし多くの高齢者が心身ともに健やかで、社会と様々な形でかかわりを持ち、存在感を発揮すれば、地域経済再生の担い手となり得る。高齢は本来、社会の中で寿(ことほ)がれるもの。国内でもいち早く高齢化が進む四国では、「高寿社会」の実現を目指す取り組みが進む。第1部は様々な分野で高齢者が活(い)き、活かされる姿を追う。

「先生」と呼ばれる。年内の15日まで」と答える。瀬のこの日は、吉井先生。実の親子のよう

なやり取りが続く。

おぎくなあれは四国

施設内でスタッフは

生産年齢人口が減少し、医療費など社会保障費の増大が懸念される2011年の日本。しかし多くの高齢者が心身ともに健やかで、社会と様々な形でかかわりを持ち、存在感を発揮すれば、地域経済再生の担い手となり得る。高齢は本来、社会の中で寿(ことほ)がれるもの。国内でもいち早く高齢化が進む四国では、「高寿社会」の実現を目指す取り組みが進む。第1部は様々な分野で高齢者が活(い)き、活かされる姿を追う。